

令和6年度学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの 実態把握に関する調査結果について

I 調査の概要

1 調査の目的

県立学校におけるセクハラ防止に向けて、教職員及び生徒のセクシュアル・ハラスメントに関する理解を深めるとともに、セクハラの実態を把握し、被害に対応する。

2 調査対象等

- (1) 県立高等学校(全課程)134校、県立中等教育学校(後期課程)2校、県立特別支援学校(高等部)29校の全ての生徒及び教職員(外部指導者を含む)。
- (2) 調査対象人数は、生徒約116,000人、教職員等約16,000人。
- (3) 調査内容
 - ・生徒自身が受けたセクハラの実態
 - ・生徒が実際に見たり相談されたりした、他の生徒が受けたセクハラ被害の実態
 - ・学校生活以外のセクハラで悩んでいた、困っていたりする生徒の実態等
 - ・学校生活全般における教職員等による児童・生徒へのセクハラの有無と実態

3 調査対象期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで(7月と12月の年2回に分けて調査実施)。

4 調査方法

- (1) 生徒は、パソコン、スマートフォン等から回答するか、学校で配付する回答用紙を県教育委員会に郵送(無記名回答も可)。
- (2) 教職員等は、原則、回答用紙に記名の上で校長に提出。令和6年度調査から自分以外の教職員等の行為についての回答は無記名での提出も可。

Ⅱ 調査の結果（概要）

1 生徒を対象とした調査

（１）被害状況

①被害の内訳

令和 6 年度				令和 5 年度			
自分自身 の被害	他の生徒 の被害	学校生活 外の悩み	計	自分自身 の被害	他の生徒 の被害	学校生活 外の悩み	計
91	81	33	205	99	74	65	238

②「自分自身が被害を受けた」の行為者及び被害内容（被害内容は複数回答可）

・被害内容は「性的なからかいや冗談などを言われた」と「必要もないのに体を触られた」が 36 件で最も多く、昨年度から増加した。

被害内容 （下段：人数）	令和 6 年度					令和 5 年度				
	先 生	生 徒	部活動の 指導者	その 他	計	先 生	生 徒	部活動の 指導者	その 他	計
	36	50	1	4	91	43	45	3	8	99
携帯電話などで性的な メッセージや画像を送 られた	0	6	0	0	6	0	13	0	0	13
携帯電話などで性的な メッセージや画像を送 るよう迫られた	0	2	0	0	2	0	6	0	0	6
性的なからかいや冗談 などを言われた	14	20	0	2	36	12	12	0	0	24
必要もないのに体を触 られた	12	22	0	2	36	15	17	1	0	33
キスや性的な関係を求 められた	0	7	0	0	7	0	6	0	0	6
着替え中に部屋に入っ てきた	4	5	0	0	9	4	3	0	2	9
「女(男)にはまかせら れない」「男(女)らし くない」など性別によ り決めつけられた	5	4	0	0	9	6	6	0	0	12
その他	15	15	1	0	31	16	9	2	6	33
件数合計（延べ）	50	81	1	4	136	53	72	3	8	136

※行為者「その他」の具体的内容：地域の人、OB ボランティア、答えたくない

(2) 被害の回答に対する当該校の調査結果

①先生を行為者とする被害の特定状況

	令和6年度	令和5年度
特定件数	45 (30人)	35 (30人)
回答件数	82	83
特定率	54.9%	42.2%

※同一人物に複数の回答がある場合があり、特定件数と人数が不一致

②当該校の対応

- ・当該校の校長に対して事実確認等の調査及び対応を依頼し、校長は、加害教職員が判明した場合は当該教職員に直接指導し、判明しなかった場合も全教職員や生徒に対する注意喚起等を行った。

2 教職員等を対象とした調査

(1) 回答状況

	令和6年度	令和5年度
回答のあった学校数	3	5
本人の申告	0	1
他教職員からの目撃情報等	5	5
(上記のうち無記名回答数)	(2)	(—)

※無記名回答は、令和6年度調査から実施

(2) セクハラ行為の内容（複数回答あり）

- ・「生徒との距離感の近さ」1件、「必要のない身体接触」1件、「不適切な指導方法（1対1など）」1件、「その他」2件

Ⅲ 総括

- 「自分自身が被害を受けた」の行為者は、先生（教職員）が減少（43件→36件）した一方で、生徒は増加（45件→50件）。
- 「自分自身が被害を受けた」の具体的な内容は、「性的なからかいや冗談などを言われた」、「必要もないのに体を触られた」とする回答の合計が過半数を占めている。
- 「自分自身が被害を受けた」と回答した性別属性について、女子生徒の被害件数（複数回答あり）が減少（96件→80件）する一方で、男子生徒の被害件数が増加（30件→42件）。
- 「先生を行為者」とする被害で特定された教職員の年代属性について、60代以上が半数近くを占めている。

Ⅳ 今後の対応

県立学校におけるセクハラを許さない学校風土づくり、人権教育の一層の推進に向けて、総合教育センターで実施する研修等や今回の調査結果及び調査結果に基づく具体例などを示した「神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料」を活用した校内研修等を行い、教職員のセクハラ未然防止に向けた意識啓発を行う。

また、啓発資料等を活用して、「生命（いのち）の安全教育」の視点を踏まえつつ、セクハラ行為についての生徒の意識向上を図るとともに、被害を受けた場合の相談方法や相談窓口の周知等を行う。

別紙

令和6年度学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査結果について（集計結果）

【生徒を対象とした調査】

1 回答状況

（1）校種別回答数

	令和6年度	令和5年度
高等学校・中等教育学校	200	234
特別支援学校	5	4
計	205	238

（2）回答学校数

	令和6年度			令和5年度		
	回答学校数	学校数	回答率※	回答学校数	学校数	回答率
高等学校	90	134	67.2%	117	135	86.7%
中等教育学校	1	2	50.0%	2	2	100.0%
特別支援学校	5	29	17.2%	6	29	20.7%
計	96	165	58.2%	125	166	75.3%

※ 回答率＝回答のあった学校数÷学校数

（3）性別の回答状況

	令和6年度				令和5年度			
	男	女	その他	計	男	女	その他	計
回答数	63	116	26	205	68	144	26	238
割合	30.7%	56.6%	12.7%	100.0%	28.6%	60.5%	10.9%	100.0%

（4）学年別の回答状況

	令和6年度					令和5年度				
	1年	2年	3年	4年・他	計	1年	2年	3年	4年・他	計
回答数	92	76	36	1	205	107	97	34	0	238
割合	44.9%	37.1%	17.6%	0.5%	100.0%	45.0%	40.8%	14.3%	0.0%	100.0%

2 被害状況

(1) 被害の内訳

	令和6年度				令和5年度			
	自分自身の被害	他の生徒の被害	学校生活外の悩み	計	自分自身の被害	他の生徒の被害	学校生活外の悩み	計
件数	91	81	33	205	99	74	65	238
割合	44.4%	39.5%	16.1%	100%	41.6%	31.1%	27.3%	100%

(2) 「自分自身が被害を受けた」の行為者

令和6年度					令和5年度				
先生	生徒	部活動の指導者	その他	計	先生	生徒	部活動の指導者	その他	計
36	50	1	4	91	43	45	3	8	99

・その他の内訳（令和6年度）：地域の人2件、OBボランティア1件、答えたくない1件

(3) 「自分自身が被害を受けた」という回答のセクハラ的行為者別被害内容（被害内容は複数回答可）

	令和6年度					令和5年度				
	先生 (36人)	生徒 (50人)	部活動の指導者 (1人)	その他 (4人)	計 (91人)	先生 (43人)	生徒 (45人)	部活動の指導者 (3人)	その他 (8人)	計 (99人)
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	0	6	0	0	6	0	13	0	0	13
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	0	2	0	0	2	0	6	0	0	6
性的なからかいや冗談などを言われた	14	20	0	2	36	12	12	0	0	24
必要もないのに体を触られた	12	22	0	2	36	15	17	1	0	33
キスや性的な関係を求められた	0	7	0	0	7	0	6	0	0	6
着替え中に部屋に入ってきた	4	5	0	0	9	4	3	0	2	9
「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	5	4	0	0	9	6	6	0	0	12
その他	15	15	1	0	31	16	9	2	6	33
計	50	81	1	4	延べ 136	53	72	3	8	延べ 136

(4)「自分自身が被害を受けた」という回答の性別被害内容 (被害内容は複数回答可)

	令和6年度				令和5年度			
	男 (24人)	女 (58人)	その他 (9人)	計 (91人)	男 (27人)	女 (66人)	その他 (6人)	計 (99人)
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	0	6	0	6	0	12	1	13
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	0	1	1	2	0	5	1	6
性的なからかいや冗談などと言われた	11	21	4	36	5	17	2	24
必要もないのに体を触られた	12	21	3	36	11	21	1	33
キスや性的な関係を求められた	1	6	0	7	0	6	0	6
着替え中に部屋に入ってきた	3	5	1	9	5	4	0	9
「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	4	3	2	9	2	7	3	12
その他	11	17	3	31	7	24	2	33
計	42	80	14	延べ 136	30	96	10	延べ 136

(5)「自分自身が被害を受けた」という回答の学年別被害内容 (被害内容は複数回答可)

	令和6年度					令和5年度				
	1年 (43人)	2年 (35人)	3年 (13人)	4年・ 不明 (0人)	計 (91人)	1年 (39人)	2年 (43人)	3年 (17人)	4年・ 不明 (0人)	計 (99人)
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた	4	1	1	0	6	6	3	4	0	13
携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた	0	2	0	0	2	3	3	0	0	6
性的なからかいや冗談などと言われた	16	15	5	0	36	11	10	3	0	24
必要もないのに体を触られた	16	15	5	0	36	16	12	5	0	33
キスや性的な関係を求められた	3	1	3	0	7	4	2	0	0	6
着替え中に部屋に入ってきた	3	4	2	0	9	4	3	2	0	9
「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた	2	5	2	0	9	3	7	2	0	12
その他	12	14	5	0	31	9	17	7	0	33
計	56	57	23	0	延べ 136	56	57	23	0	延べ 136

(6) 自分自身の被害についての対応 (複数回答可)

	令和6年度	令和5年度
何もしなかった	31	35
態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた	27	30
友だち、家族など身近な人に相談した	41	50
学校の先生や相談窓口などに相談した	24	25
その他	5	3
計	128	143

(7) 自分自身の被害の回答時の状況 (複数回答可)

	令和6年度	令和5年度
被害を受けなくなった	40	48
被害を受け続けている (調査時まで)	34	48
二次被害を受けた	2	0
その他	18	6
計	94	102

・その他の内容：たまにある、一度収まったが最近またある、今のところない等

3 「学校生活以外でのセクハラについて、悩んでいた、困っていたりすること」の記述回答の内容の分類

	令和6年度	令和5年度
痴漢	5	16
不審者	3	3
アルバイト先での被害	9	5
家族や校外の友人等からの被害	0	4
性別による決めつけ	0	2
インターネットによる被害	5	9
セクハラへの不安	1	11
性的なからかい	3	1
性的な関係を迫られた	0	5
必要もないのに体を触られた	3	3
その他	4	6
計	33	65

4 被害の回答に対する当該校の事実確認等の調査結果 (令和6年度)

(1) 先生を行為者とする被害の特定状況

	令和6年度	令和5年度
特定件数	45 (30人)	35 (30人)
回答件数	82	83
特定率	54.9%	42.2%

(2) 特定された教職員の行為内容の内訳

	令和6年度	令和5年度
性的なからかいや冗談	5	8
必要もないのに体を触られた	12	9
着替え中に部屋に入ってきた	3	3
性別による決めつけ	1	2
その他	9	8
計	30	30

(3) 特定された教職員の属性

性別		男	女
	令和6年度	28 (93.3%)	2 (6.7%)
	令和5年度	28 (93.3%)	2 (6.7%)

年齢		20代	30代	40代	50代	60代以上
	令和6年度	0 (0.0%)	6 (20.0%)	9 (30.0%)	1 (3.3%)	14 (46.7%)
	令和5年度	1 (3.3%)	8 (26.7%)	5 (16.7%)	2 (6.7%)	14 (46.7%)

(4) 特定された案件の教職員の年齢と被害内容の相関

		20代	30代	40代	50代	60代以上	計
性的なからかいや冗談	令和6年度	0	1	2	0	2	5
	令和5年度	0	3	2	0	3	8
必要もないのに体を触られた	令和6年度	0	3	2	1	6	12
	令和5年度	0	2	2	0	5	9
着替え中に部屋に入ってきた	令和6年度	0	0	2	0	1	3
	令和5年度	0	0	0	0	3	3
性別による決めつけ	令和6年度	0	0	0	0	1	1
	令和5年度	0	1	0	1	0	2
その他	令和6年度	0	2	3	0	4	9
	令和5年度	1	2	1	1	3	8
計	令和6年度	0	6	9	1	14	30
	令和5年度	1	8	5	2	14	30

[教職員等を対象とする調査]

1 回答状況

	令和6年度	令和5年度
回答のあった学校数	3（高校・中等2、特支1）	5（高校・中等5、特支0）
本人の申告	0	1
他教職員からの目撃情報等 （そのうち、無記名の回答）	5 (2)	5 (一)

2 回答の内容（複数回答あり）

	令和6年度	令和5年度
生徒との距離感の近さ（物理的、接し方）	1	3
必要のない身体接触	1	3
不適切な指導方法（1対1の指導等）	1	2
体型等についての発言	1	0
不適切な発言	0	1
その他	2	0

3 行為者の教職員の属性（人数）

性別		男	女			
	令和6年度	1	2			
	令和5年度	5	1			
年齢		20代	30代	40代	50代	60代以上
	令和6年度	0	2	1	0	0
	令和5年度	2	0	1	2	1

生徒のみなさんへ

神奈川県教育委員会

令和6年度第2回学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査のお願い

このたび、県教育委員会では、令和6年度第2回学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメント（セクハラ）の実態把握に関する調査を実施します。

「セクハラに関する調査」は、県立学校におけるセクハラ被害への対応と防止に向けた取組を進めることを目的に実施しますので、ご協力をお願いします。

回答内容は、調査の目的以外では利用しません。また、回答された個人情報などについては、秘密を守ります。ただし、セクハラ行為を止めるなどの具体的な対応が必要な場合を除きます。

【回答方法】

パソコン、スマートフォンなどのインターネットに接続可能な機器から、下に記載したURL、又はスマートフォン用二次元コードを使って回答する方法と、学校で配付する回答用紙と返信用封筒を使って回答する方法があります。同じ回答内容については、いずれか一つの回答方法のみで回答してください。

令和6年8月1日（木）以降にあったことで、下に記載したスマートフォン用二次元コードの右枠内に書かれた●の内容に該当する場合は、そのことについて回答してください。また、令和6年4月1日から7月31日までにあったことで、第1回の調査で回答できなかったことについても回答することができます。回答は、県教育委員会が迅速に対応するため、できるだけ令和7年1月14日（火）までに回答してください。（令和7年3月31日（月）まで受け付けます。）

○直接リンクURL

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail?tempSeq=86970

○スマートフォン用二次元コード



調査の該当事項

- 学校生活の中で、自分自身がセクハラ被害を受けた。
 - 学校生活の中で、他の生徒がセクハラ被害を受けた現場を見たり、被害を受けた生徒から直接相談されたりした。
 - 学校生活以外のことで、現在、セクハラについて、悩んでいたり、困っていたりすることがある。
- （※上の●に該当しない場合は、回答する必要はありません。）
- また、事案の解決のため、回答はできるだけ具体的に書くようにしてください。）

前年度以前の調査結果については、神奈川県のホームページで報告しています。

【本調査の問合せ先】神奈川県教育委員会教育局行政部行政課人権教育グループ

〒231-8588 横浜市中区日本大通1 電話(045)210-8087(直通)

セクハラ等に関する啓発資料

こんなことがセクハラになります！

携帯電話などで、性的なメッセージや画像を送りつける。または、送るように迫る。
容姿について話題にする。 目のやり場に困る格好をする。 性的なからかいや冗談を言う。
必要もないのに体を触る。 キスや性的な関係を求める。 着替え中に部屋に入る。
「女（男）にはまかせられない」「男（女）らしくない」など性別により決めつける。
脚などを写真に撮る。 しつこくデートにさそう。 性的な体験をたずねたり話したりする。

セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）とは、相手を不快にさせる性的な言動（発言や行為）のことをいいます。セクハラには、性別により役割を分担すべきとする意識にもとづいて相手を不快にさせる言動もふくまれます。また、からだに触る、性交、言葉・文書等による性的いやがらせ、盗撮・のぞきなどの行為は、状況や行為の内容によってはわいせつな行為として犯罪にもなります。

★不快と感じるかどうかは人によってちがいます。あなたが親しみのつもりで行ったことでも、相手が不快と感じれば、それはセクハラになってしまいます。

これは、男性から女性に対してだけではなく、女性から男性、あるいは同性に対しても同じです。

★生まれもった性と心で感じる性が異なる人や同性を恋愛対象とする人をからかうこともセクハラになります。

注意してください！！

○教職員等（部活動インストラクターも含みます）が、児童・生徒とSNSでやり取りをすることは禁止されています。また、児童・生徒の連絡先を収集する場合には、本人・保護者に目的を伝え、文書で承諾を得て、校長に届け出る必要があります。生徒のみなさんも、私的に教職員等に対し連絡先を求めたり、SNSを用いて交流したりしないでください。

○近年の本調査では、「自分自身が被害を受けた」における被害の内容として、生徒間における携帯電話等によるものの回答があります。誤った使い方をして、ネット上に個人が特定できる画像等が広く流出するなど、削除できなくなる可能性もあります。画像の内容や二次使用によって、セクハラ被害や性被害にもつながる可能性があります。また、学校外での悩みごと・困りごととして、アルバイト先での被害についての訴えがあります。一人で悩まず、身近な人などに相談して対処するようにしてください。

セクハラ等を受けたなら

○がまんしないで、相手に「やめてほしい」と伝えましょう。自分で伝えるのがむずかしいときは、身近な信頼できる人や学校の「校内人権相談窓口」に相談しましょう。

○身近な人や学校に相談しにくいときは、次の県立総合教育センターの相談窓口も利用できます。

★県立学校におけるセクシュアル・ハラスメントに関する相談窓口（県立学校児童・生徒対象）

電話相談 0466-81-1967 平日 8:45~12:00/13:00~16:45

メール相談 県立総合教育センターホームページのメールフォームから ※年末年始は除く

（参考）

性犯罪や性暴力の被害にあった際の相談窓口

○「かならいん」（かながわ性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター）

電話相談 #8891 または 045-322-7379 （24時間365日）

○24時間子どもSOSダイヤル（県立総合教育センター）

（※性犯罪・性暴力の被害に限らず、子どもに関する幅広い相談に応じています。）

電話相談 0120-0-78310 （24時間365日）



相談先は、いろいろあります。一人で悩まないでください。

セクハラに関する調査(令和6年度第2回) 回答用紙

令和6年8月1日からこれまでのあなたの学校生活におけるセクハラについて、当てはまるものの□にチェックしてください。

また、令和6年4月1日から令和6年7月31日までにあったことで、第1回の調査(7月にインターネットのみで実施)で回答できなかったものについても回答することができます。

☐ インターネットですでに回答している	調査は終了です。回答用紙を提出する必要はありません。
--	----------------------------

インターネットで回答をしていない場合は次の中から当てはまるものの□にチェックしてください。Ⅰ～Ⅲの複数にチェックすることができます。(学校生活以外のことはⅢにチェックを入れてください。)

☐ Ⅰ：自分自身が被害を受けた	質問1に回答
☐ Ⅱ：他の生徒が被害を受けた	質問2に回答
☐ Ⅲ：学校生活以外のことで、現在、セクハラについて、悩んでいたたり、困っていたりすることがある	質問3に回答
☐ Ⅰ～Ⅲのいずれにも当てはまらない	調査は終了です。回答用紙を提出する必要はありません。

回答を記入した人

記入したこの用紙を配付した封筒(体罰調査・セクハラ調査返信用封筒)に入れ、できるだけ令和7年1月14日(火)までにポストに入れてください。(1月15日以降も3月31日まで受け付けます)

配付した封筒は、県教育委員会(〒231-8588 横浜市中区日本大通1 東庁舎10階 神奈川県教育委員会教育局 行政課人権教育グループ)に届きます。

回答を記入していない人

この用紙は郵送しないでください。

ⅠからⅢに当てはまる場合には、まず、学校名等を記入してから質問に答えてください。

学校名・学年、そして高等学校の生徒においては課程を必ず回答してください。性別・氏名の記入は任意です。

学校名 (当てはまる区分に「○」)	課程(当てはまる区分に「○」)	学年	性別	氏名
高等学校	全日制・定時制・通信制	年(年次)生		
中等教育学校				
支援学校				

【質問1】自分自身が被害を受けた場合の質問です。複数件ある場合、3ページのA欄、B欄に記入してください。

1 件目

- ① あなたは、誰からセクハラを受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(○は一つしかできません。二人以上の人から被害を受けた場合は、①から⑥の質問に回答した上で、3ページのA欄、B欄に記入してください。)

ア: 先生

イ: 生徒

ウ: 部活動の指導者(顧問の先生以外)

エ: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」などと記入してください。)

- ②-1 セクハラを受けたことについて、どのような被害でしたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数○をすることができます。)

ア: 携帯電話などで性的なメッセージや画像を送られた。

イ: 携帯電話などで性的なメッセージや画像を送るよう迫られた。

ウ: 性的なからかいや冗談などを言われた。

エ: 必要もないのに体を触られた。

オ: キスや性的な関係を求められた。

カ: 着替え中に部屋に入ってきた。

キ: 「女(男)にはまかせられない」「男(女)らしくない」など性別により決めつけられた。

ク: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」などと記入してください。)

- ②-2 ②-1で回答したことについて、あなたはどうしましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(イ~オは複数○をすることができます。)

ア: 何もしなかった。

イ: 態度や言葉などで不快と感じたことを相手に伝えた。

ウ: 友だち、家族など身近な人に相談した。

エ: 学校の先生や相談窓口などに相談した。

オ: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」などと記入してください。)

- ③ ②-1で回答したことについて、いつ被害を受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。(複数○をすることができます。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」などと記入してください。)

ア: 朝のホームルーム前 イ: 授業中 ウ: 休み時間中 エ: 昼休み時間中 オ: 放課後 カ: 部活動中

キ: その他(答えられる範囲で具体的に記入してください。)(答えられないときには、「わからない」「答えたくない」などと記入してください。)

- ④ ②－１で回答したことについて、どこで被害を受けましたか。次の中から当てはまるものを選んでください。（複数○をすることができます。）

ア：普通教室 イ：特別教室 ウ：教科準備室 エ：体育館や武道場 オ：グラウンドやテニスコートなど
カ：廊下や階段 キ：更衣室 ク：部室

ケ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）（答えられないときには、「わからない」「答えたくない」などと記入してください。）

- ⑤ ②－１で回答したことについて、現在、そのセクハラはどうなっていますか。次の中から当てはまるものを選んでください。（複数○をすることができます。）

ア：被害を受けなくなった。

イ：被害を受け続けている。

ウ：二次被害（※）を受けた。

エ：その他（答えられる範囲で具体的に記入してください。）（答えられないときには、「わからない」「答えたくない」などと記入してください。）

※二次被害とは、被害を訴えた人が、周囲の人から無視や批判されたり非難されたりして、精神的打撃を受けること。

- ⑥ ②－１で回答したことについて、セクハラの実行者、受けた被害の具体的な状況・内容などを、詳しく説明してください。

１件のみ場合には、質問１は終了です。

他にもあなたが被害を受けた場合には、上で回答した①～⑥を参考に、２件目、３件目の枠内に記入してください。

記入する内容がなければ、質問１は終了です。

２件目（Ａ欄）

３件目（Ｂ欄）

【質問2】他の生徒が被害を受けた場合の質問です。

あなたが、他の生徒が学校生活の中でセクハラを受けた現場を見たり、被害を受けた生徒から直接相談されたりした場合は、次の枠を使用して、「誰が、誰から、どのような被害を、いつ、どこで受けたか」などについて、答えられる範囲で具体的に記入してください。

あなたが、他の生徒が被害を受けた現場を見たり、被害生徒から直接相談されたりしていない場合は、質問2は回答不要です。

※根拠のないうわさや悪口ではなく事実を書いてください。該当するものに○をつけ、()には文章などで記入してください。

- ① 誰が()
- ② 誰から ・先生 ・生徒 ・部活動の指導者(顧問の先生以外)
- ・その他()
- ③ どのような被害か()
- ④ その後の対応は ・何もしなかった
- ・対応した場合の内容 ()
- ⑤ いつ ・朝のホームルーム前 ・授業中 ・休み時間中 ・昼休み時間中 ・放課後 ・部活動中
- ・その他()
- ⑥ どこで ・普通教室 ・特別教室 ・教科準備室 ・体育館や武道場 ・グラウンドやテニスコートなど
- ・廊下や階段 ・更衣室 ・部室 ・その他()
- ⑦ 現在の被害の状況は ・被害を受けなくなった。 ・被害を受け続けている。 ・二次被害を受けた。
- ・その他()
- ⑧ 被害の具体的な内容について
- ()

【質問3】学校生活以外のことで、現在、あなたがセクハラについて、悩んでいたたり、困っていたりすることがあったら記入してください。特にない人は、質問3は回答不要です。

ご協力ありがとうございました。

令和6年12月

教職員等のみなさんへ

神奈川県教育委員会

令和6年度学校生活全般におけるセクシュアル・ハラスメントの実態把握に関する調査
(教職員等用) について

この調査は、教職員等のセクシュアル・ハラスメント（以下「セクハラ」という。）の未然防止や意識の向上を図るとともに、児童・生徒への被害に対応するため、県立学校の教職員等に係るセクハラの実態を明らかにし、児童・生徒への被害に適切に対応するという趣旨をご理解の上、ご協力をお願いします。

本調査用紙は、令和7年1月14日（火）までに、校長（管理職）に提出してください。

氏 名 _____

※原則、記名での提出をお願いします。

※項目3（自分以外の教職員等の行為）は、具体的かつ客観的に記入いただける場合限り、無記名での提出も可能です。（その際には、本調査用紙をコピーしてください。）

- 1 あなたは、今年度（令和6年4月から現在まで）、学校内の指導全般において、児童・生徒に対してセクハラ、あるいは児童・生徒からセクハラではないかと疑われる行為をしたことがありますか。ただし、既にわいせつ事案による懲戒処分等を教育委員会から受けているものは除きます。

（ はい ・ いいえ ） →→→ 「はい」の場合は2へ

- 2 「はい」と答えた場合は、その言動について具体的に記入してください。複数回ある場合はその全てを記入してください。

いつ	令和 年 月 日 時 頃 授業中・休み時間・部活動中・放課後・他（ ）
どこで	教室（ 年 組）・特別教室（ ） ・体育館・グラウンド・他（ ）
誰に	年 組 生徒氏名（ ）
どのような言動か (具体的に)	

